

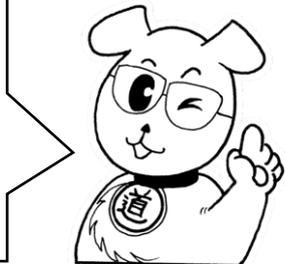
Q20 道徳教育推進教師は、どのような役割があるのでしょうか。



道徳科は、主として学級の児童を周到に理解している学級担任が計画的に進めるものですが、学校の道徳教育の目標を達成させる意味から学校や学年として一体的に進めるものでなくてはなりません。そのために、指導に際して全教師が協力し合う指導体制を充実させることが大切になり、道徳教育推進教師が中心となって取り組むことが求められています。

例えば、次のような役割が考えられます。

1. 道徳教育の指導計画の作成に関すること（→Q3参照）
 2. 全教育活動における道徳教育の推進、充実に関すること（→Q2参照）
 3. 道徳の時間の充実と指導体制に関すること
 4. 道徳用教材の整備・充実・活用に関すること
 5. 道徳教育の情報発信や情報交換に関すること
 6. 授業の公開など家庭や地域社会との連携に関すること（→Q19参照）
 7. 道徳教育の研修の充実に関すること
 8. 道徳教育における評価に関すること（→Q6参照）
- など



道徳教育推進教師の1年間（例）

4月～ 5月 6月～	<input type="checkbox"/> 指導計画の作成 →学校の重点目標の設定 →各学年の重点目標の設定 →各学年、学級の指導計画の作成 <input type="checkbox"/> 情報発信、情報交換 →研究会や研修等に参加した情報を発信し、全体で共有できるようにする。 →授業についての相談やアドバイス	2月～ 3月	→通知票作成にかかる共通理解 <input type="checkbox"/> 研修の計画、実施 <input type="checkbox"/> 授業の公開や地域との連携 <input type="checkbox"/> 年間反省 <input type="checkbox"/> 指導計画の見直し →次年度に活かせるように別葉等の修正を行う。
------------------	--	-----------	--

<指導体制の充実によって、多様な利点や効果を生み出すことができます>

- 学校としての道徳科の指導方針が具体化され指導の特色が明確になります。
- 全教師が児童の実態や授業の進め方などに問題意識をもつことができます。
- 学校の全ての教職員が各学級や一人一人の児童に関心をもち、学校全体で児童の道徳性を養おうとする意識をもつようになります。
- 人材の情報が学校として組織的に集約され、それらを活用してねらいに即した効果的な授業が一層計画的に実施されることにつながります。

このような成果が広く生み出されるように、校長の責任と方針の下で、道徳教育推進教師が中心となって取り組み、道徳教育を充実させていくことが望まれます。